

# 特別報告 第45回通常総代会を開催しました。

6月9日(金)、奈良県文化会館国際ホールで第45回通常総代会を開催しました。日ごろ、無店舗共同購入、受取ハウス(こまどり便)・店舗に寄せられている声や総代による各会議ですすめられてきた話し合いをもとに、安心してくらせる地域づくりの実現に向けて、4つの議案すべてが賛成多数で可決されました。

## 2016年度を振り返って

- ① 全体の供給高は、386億5,021万円と、円安による輸入原料の高騰による商品価格引き上げや自然災害、悪天候などにより農産品を中心とした価格高騰が続いた中、組合員へのくらし応援をすすめた結果、増収を確保でき、過去最高の供給高となりました。
- ② 組合員数は、ならコープに新たに加入された組合員が13,049人となり、組合員数は26万9,972人となりました。また出資金残高は前年から2億2,498万円増加し、99億5,435万円になりました。
- ③ 組合員のくらしの変化に対応し、期待に応え続けられる組織であるために、本部事業棟(あすなろハイソ恋の窪)や宅配水事業をおこなう吉野事業所の開設、田原本物流センター西棟改築、コープなんごうの出店など新しい事業やサービスによる組合員のくらしへの貢献に取り組みしました。
- ④ 食の安全、商品・新規事業分野では、品質保証部が事務局を担う特定非営利活動法人奈良県HACCP研究会が、奈良県行政と協力し、すすめてきた「奈良県HACCP自主衛生

## 2017年度の事業計画

- ① 2017年度は、第11次中期計画の2年目となる中核年度であり、少子高齢化と人口・世帯人員が減少する中、100年続く生協をめざした組織づくりと利用し続けられる商品と仕組みづくりをすすめ、くらしの変化や組合員の要望にスピードを上げて対応し組合員のくらしに貢献し続けます。
- ② 店舗事業は、6月にオープンしたならコープwithローソン真美ヶ丘店を拠点としたコミュニティ型店舗とコープ六条の移転拡張となるコープ七条の出店を成功させ、店舗事業の黒字化の実現をめざします。無店舗事業は新規仲間づくりと商品お知らせ活動を重点として取り組み、利用人数の伸長に取り組みます。これらを成し遂げ、両事業ともに成長し続けることをめざします。

- ③ CO-ORMシステムの稼働やお買い物アプリ、「ならコープでんき」の供給開始など、組合員が利用し続けられるサービス領域をひろげていきます。店舗・無店舗の枠を越え、「コープあつたか便」、「夕食宅配」、「宅配水」などが利用できる「宅配事業」の確立をめざします。
- ④ 時代の変化に即した組合員組織として活動のあり方や運営の見直しをすすめる、参加をひろめます。また商品・食育「たべる、たいせつ」活動を広げ、新たな生協ファンを増やすとともに、各

## 第45回通常総代会を開催しました。



### すべての議案が可決されました

今回の通常総代会には、総代510人中、委任・書面議決を含む483人が出席。2016年度事業報告や決算関係書類の承認、2017年度事業計画などの提案をおこない、4つの議案すべてが可決承認されました。

第1号議案	2016年度事業報告・決算関係書類承認の件
第2号議案	2017年度事業計画及び収支予算案決定の件
第3号議案	役員選任の件
第4号議案	役員報酬決定の件

管理認証制度(通称「ならハサップ」)が施行され、2016年12月にはグループ会社である(株)奈良コープ産業を含めた県内5施設が初認証を受けることができ、県内食品事業者の品質管理向上の取り組みがすすみました。また、店舗・無店舗の両事業でコープなんごう開店記念組合員還元企画に取り組みました。

防止自主行動計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に取り組みました。また、ならコープエネルギー政策の具現化として、「(財)再エネ協同基金」の設立につづき、小売電気事業に参入。ならコープグループ(株)CWSを通じて「ならコープでんき」の各事業所への電気供給を開始。2017年4月から組合員への供給に向け、1月から募集をおこないました。

⑥ 組合員活動は、一人ひとりのくらしを良くしたい声や願いを協同の力で実現していくことをめざし、地域をよくするための活動を大切にすすめました。また、組合員のつどいは4,000人以上が参加するとともに、商品・食育「たべる、たいせつ」、環境、福祉、平和、子育てなどの活動とあわせ、約2万人が、学びあい、広めあいの活動に参加しました。

⑦ 東日本大震災、紀伊半島大水害から5年が経ち、被災者のみなさんが自力で生活再建をすすめられるよう、組合員と一緒に多彩な支援活動を展開しました。2016年4月に発生した熊本・大分地震に対して、人的、物的支援をおこなうとともに組合員のみならず募金をはじめ、さまざま

行政や地域の諸団体とのつながりを深め、安心してくらせる地域づくりに取り組みます。

⑤ 「ならコープでんき」の利用者を増やすとともに取り組みを通じて、原発に頼らない循環型社会の形成に向けて再生可能エネルギーの地産地消をすすめていきます。

⑥ 少子高齢化、生産年齢人口の減少により、労働力不足が顕在化する中で、将来を見据えた労働力確保のために働き方改革をすすめることともに、新しい制度構築とだれもが働きやすい・働き続けられる職場運営をめざします。

⑦ ならコープのグループ会社それぞれがその専門分野で最大限の力を発揮し、ならコープグループ全体で県

民・組合員のくらしに貢献していきます。

## 2017年度の事業計画

### 3つの目標

- ① 供給高395億5,000万円、経常剰余金4億3,000万円以上をめざします。
- ② 出資金の目標  
期末出資金残高101億円をめざします。
- ③ 仲間づくりの目標  
新規加入者13,000人を迎え入れ、期末組合員数27万7,000人以上をめざします。

## 「決算概況のお知らせ及び剰余金割戻のお知らせ」をお届けします。

第45回通常総代会で承認された決算報告の内容を、組合員の皆様に「決算概況のお知らせ及び剰余金割戻のお知らせ」としてお届けします。昨年度に引き続き、お知らせを発行する時点で共同購入(班)・こまどり便をご利用の皆様につきましては、6月26日(月)から6月30日(金)の配達時の「請求明細書兼商品お届け表」に添付してお届けさせていただきます。また、受取ハウス、店舗のみご利用の皆様には、7月上旬

までにお知らせを郵送いたします。ご確認ください。

なお、お知らせがお手元に届かない場合(郵送の方は、7月下旬になってもお手元に届かない場合)は、配達担当者または店舗サービスコーナーへお問い合わせください。

## 総代会とは?

コープは、株式会社とは違い、「こんな商品がほしい!」「こんなサービスがあったらいいな」という声を実現するために、組合員自身が主人公となって運営に参加する組織です。事業の計画なども組合員が決定します。しかし、ならコープの組合員27万人が一堂に集まるのは困難です。そのため、各選挙区から合計510人の総代を選出して、年1回、6月の「通常総代会」で決算、事業計画、役員選任、定款の変更などについて議決します。

また活動にもご支援いただきました。





## 理事長就任のご挨拶



第45回通常総代会で森宏之の退任に伴い、第1回理事会で理事長に互選されました中野素子です。これまで、日々のくらしと生協利用の実感、組合員活動や会議の場への参加、取引先様、行政、地域の諸団体様との連携、組合員・役員と協同する日常、あらゆる場面で学びながら、理事会メンバーと共に理事会の審議に真摯に臨んでまいりました。さらなる重責となり、身の引き締まる思いですが、全力を尽くす所存で努めてまいります。

さて、ならコープは今年度創立43年となります。27万人の組合員が出資し、利用し、運営する生活協同組合です。この間の設備投資や新規事業の取り組みを広め、既存事業同様しっかりと地域に根付かせていくことが、奈良県の過半数近くの世帯がご加入いただく生協の重要な社会的役割でもあります。そのために、生協の主体である組合員に生協

理解をきちんと広げ、組合員参加を深めていくことを改めて大切にしたいと考えています。組合員が生協の運営に主体的に参加することで、生協理解を深め、組合員同士話し合い、組合員のくらしをよりよくするために生協活動を推進することができまします。生協をどんどん利用して感想をならコープに届けたら、その中でよかったですと思うこと、組合員活動への参加の呼びかけをお友達にすることなどで、組合員自ら協同組合に参加する仲間を増やしていくことが、生協としての発展に欠かせません。組合員が楽しくいきいき利用し参加できること、組合員のくらしがよくなること、組合員のみなさまと共に考え、役員一同頑張つてまいります。

2017年6月 中野 素子

## 理事長退任のご挨拶



この度、第45回通常総代会にて、ならコープの理事長を退任いたしました。奈良市民生協（ならコープ）に入協させていたばかり38年、理事長に選任されて10年にわたって、務めさせていただきました。みなさまに心より深く感謝し、御礼を申し上げます。

当時、市民生協が全国に設立され、平和とよりよき生活を求めて私の故郷の奈良にも全国の先輩生協のご支援をいただいで市民生協が誕生したニュースを聞きましたが、あこがれて生協に職を得ることができた喜びの日を思い出します。

協同組合原則にそった組合員の運営参加と商品利用結果運動、仲間をふやす組合員のクチコミ力、これらは生協にしかないもので大きな財産です。今日のならコープは、私が入協時に「想定」できなかった大きな発展をとげていますが、これは組合

員のみなさまと共栄会をはじめとした多くのお取引先様、そして、生協役職員みんなの夢を追ってあきらめない取り組みの積み重ねがもたらしたものです。これらの努力がならコープの事業と活動の広がりを生み出し、地域的な問題と共に社会的な問題に関与できる存在に押し上げたと思っています。これからも協同組合原則に忠実に、平和とよりよき生活を守り、生協前進の道をおしすすめ、着実な発展を遂げられることを心から祈念申し上げます。御礼のご挨拶いたします。本当に、ありがとうございます。

2017年6月 森 宏之

## 総代会で役員を選任がおこなわれ、2017年度第1回理事会・監事会にて次のように分担が決められました。

- |   |  |  |   |   |   |
|---|--|--|---|---|---|
| <br>常任理事(常勤)<br>福西 啓次(新)<br>大和高田市 | <br>常任理事<br>高良 光江(現)<br>生駒市       | <br>常任理事<br>関 明子(現)<br>大和郡山市    | <br>常任理事<br>有山 富士美(現)<br>生駒市       | <br>専務理事(常勤)<br>山中 教義(現)<br>大和郡山市 | <br>理事長<br>中野 素子(現)<br>平群町   |
| <br>理事<br>板澤 英子(新)<br>生駒市         | <br>理事<br>青木 美紗(新)<br>学識経験者(員外)   | <br>理事<br>青木 郁夫(現)<br>学識経験者(員外) | <br>常任理事<br>吉田 由香(現)<br>大和高田市      | <br>常任理事(常勤)<br>宮高 達也(新)<br>大和高田市 | <br>常任理事<br>堀井 久栄(現)<br>御所市  |
| <br>理事<br>坂上 吉一(現)<br>学識経験者(員外)   | <br>理事<br>金光 結香(現)<br>河合町         | <br>理事<br>柿内 輝義(現)<br>学識経験者     | <br>理事<br>垣内 恭子(現)<br>明日香村         | <br>理事<br>牛谷 光子(新)<br>橿原市         | <br>理事<br>稲野 玲子(現)<br>奈良市    |
| <br>理事<br>中辻 利佳(新)<br>天理市        | <br>理事<br>辻 由子(現)<br>学識経験者       | <br>理事<br>田村 佳代子(現)<br>生駒市     | <br>理事<br>玉置 了(現)<br>学識経験者(員外)    | <br>理事<br>田嶋 剛(新)<br>学識経験者(員外)   | <br>理事<br>澤田 永子(新)<br>斑鳩町   |
| <br>理事<br>山内 美和子(新)<br>香芝市      | <br>理事<br>諸熊 えい子(新)<br>生駒市      | <br>理事<br>森本 宏美(新)<br>吉野町     | <br>理事<br>宮坂 光行(新)<br>学識経験者      | <br>理事<br>萬本 量美(現)<br>大和高田市     | <br>理事<br>藤田 有紀子(現)<br>川西町 |
| <br>監事<br>松村 由美(現)<br>大和高田市    | <br>監事<br>西野 慎一(新)<br>学識経験者(員外) | <br>監事<br>三田 幸子(新)<br>奈良市     | <br>監事<br>岡本 善英(現)<br>学識経験者(員外) | <br>常勤監事<br>小谷 忠範(現)<br>奈良市    |   |



# 総代会では8人の総代から 発言がありました。

総代会にあたり、18人の総代から「わたしのひとこと」が寄せられました。総代会当日発言を掲載(抜粋)しています。



●組合員活動をつうじていろいろな学習してきたこと、多くの組合員さんや生産者さんと出会えたことなど、楽しく有意義な事でした。近頃は、活動をする人・できる人が少なくなってきたりしますが、時代の流れとともにくらしの中の困り事・関心事は増える一方だと感じています。こんな時代だからこそなお「賢くともにたすけあう消費者に育ちあうため」の組合員活動が必要で、だれもが気軽に参加できるような組合員活動のあり方、組織づくり、運営の方法など、ぜひ今年度の課題として取り組んでほしいと願っています。

●「南エリア子育てサポーターズふぁん☆ふぁん」は、あすなら保育園設立支援の目的を果たし、以降「子育ての悩みを声を拾って少しでも手助けができたら」という思いで子育ての場づくりをめざしています。月1回「こーぷみみなしの店内で」お店でふぁん☆ふぁんを開催。お母さんは、お子さんと遊ぶもよし、預けてゆつくりとお買い物でもかまいません。子育て支援であり、買い物支援でもあります。ぜひふぁん☆ふぁんに遊びに来ててください。他の組合員さんに教えてあげてください。また、私たちと一緒に楽しく子育てのお手伝いをするメンバーも募集しています。

●こーぷなんごうは、品揃えも豊富で、特に新鮮でおいしい魚が買えるので気に入っています。ならこーぷのお店はマイバッグ持参が当たり前、マイバッグを持参している方が95%を超えているお店がほとんどの中、こーぷなんごうはレジ袋無料配布の影響もあり、持参率は約25%と低いのが現状です。レジ袋1枚につき盃1杯分(約20g)の原油が使われています。環

境のためにも繰り返し使えるマイバッグを持参しましょう。マイバッグ持参率が100%になるよう組合員のみならずのご協力をお願いします。

●国会では、共謀罪法案の成立が検討され、国民の理解や審議が不十分な状態のまますすめられようとしています。法案反対の声が広がる中、国会議員会館前でスピーチの一部を紹介いたします。私は憤りを感じます。私たちの日常の当たり前におこなっている事が監視対象になるかも知れない、互いに監視し合うような社会を子どもたちに残したくありません。物言えぬ社会は戦争への道のはじまりです。子どもたちの未来のために、私は何としても戦争をしない日本を残したい。私の小さな力が大きな力につながるようにと声をあげていきます。平和への願いをみなさんも一緒に声をあげていきましょう。

●私は東日本大震災以来、生協の支援活動や取り組みを知るにつけ、生協の一員である事で少しの支援になっている事を知り、良かったと感じています。しかし生協の平和活動に物足りなさを感じています。過去に取り組みられていた平和行進は、多くの人々が平和の大切さを考える機会にもなっていたと思います。協同組合の理念には、平和と人間の尊厳を大切に、とありますが、平和憲法が変えられようとしている今、生協として平和について積極的な行動を期待しています。

●昨年出版されたならこーぷの店舗事業について書かれた書籍「人間力・全員経営」について、怒りと、組合員の活動を無視した内容に対して不快さを感じました。組合員、役員が一緒に運営している意識の欠落、驚き

や憤りとともに「ならこーぷはどうなっているの」と心配しています。2017年度からの新たな役員選任、理事会構成で、これらを教訓にして、謙虚に事業・組合員活動に取り組む理事会の運営を期待しています。失われた信頼を修復するには何をしなければいけないか、組合員、役員と共に考えていかなければならない時だと思っています。

●書籍「人間力・全員経営」を読んだ組合員の多くが、強い怒り、不信感、とまどいを感じました。それぞれの立場で異議を申し立て、説明を強く求めてきました。私たちの意見が、議案書をはじめ、それらへの回答として反映されたと認識しています。創立43周年、組合員数27万人の組織に成長し、一定の信頼を得るまでになりました。しかし、組織が大きくなっただけで組合員には見えにくくなっている現状を、改めて思い知らされました。「出資して、運営する」生協の三原則を、今一度、一人ひとりの組合員が心にきざみ、「私の生協」との思いを新たにしたいと思いません。今日の厳しい社会情勢の中で、新しい体制のもとスタートする理事会を、みんなで見守り、意見を述べ、応援していきましょう。

●県南部、東部地域でのさまざまな取り組みに感謝します。安心・安全な商品の提供にとどまらず、人づくり、少子高齢化、エネルギーの取り組みにも期待しています。また食育、子育ての取り組みとあわせて生協は、市民に身近な存在、多岐にわたる事業をアピールする機会として、中高年を対象とした講座や地域への出前講座などにも取り組んでいただければと思います。

## 発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

理事会を代表して中野副理事長、山中専務理事が回答しました。

の情報を広くわかりやすく伝えられるにはどのようにすれば良い

かなど、みなさんからのご意見もおよせください。

「子育てサポーターズふぁん☆ふぁん」のみなさんの活動はとても喜ばれているとのこと、組合員さんが引越前にお礼を言うため

「子育てサポーターズふぁん☆ふぁん」のみなさんの活動はとても喜ばれているとのこと、組合員さんが引越前にお礼を言うため

うすすめればいいのか、社会全体の課題ともなっています。子育て層にとっても安心できるお店づくりの組合員の活動です。応援よろしく願います。



まず、参加されていらつしやる親子の様子、ふぁん☆ふぁんのみなさんの様子を知ってみる。そこから始めたいですね。子どもを育てやすい、育ちやすい応援をど

ならこーぷでは当たり前となっているマイバッグ持参、レジ袋有料化ですが、こーぷなんごうでは、開店時からのレジ袋の有料化はおこなわず、マイバッグ持参運動を改めて呼びかけながら有料化に移行すること

### 中野副理事長 回答(要旨)

●各エリアで「いきいきした活動が広がり、メンバーが増えるにはどうしたらいいか」の話し合いをもとに、活動の広がりを実感できることを願い、2017年度からこーぷネットのパートナーとして職員配置、エリア委員の公募、各エリアでの組合員活動のお知らせ広報などをすすめています。また活動に関する情報を組合員に届けていくことを大切にしています。活動支援のあり方、活動



## 貸借対照表

(2017年3月31日現在)

市民生活協同組合ならコープ (単位:千円)		市民生活協同組合ならコープ (単位:千円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>8,563,322</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,563,460</b>
現金預金	4,911,331	買掛金	586,504
供給未収金	2,784,699	事業連合買掛金	3,164,741
商品	322,244	短期借入金	699,980
未収金	365,346	短期リース債務	19,620
未収消費税等	111,273	未払金	832,639
繰延税金資産	74,552	未払法人税等	105,394
その他	25,084	未払費用	50,270
貸倒引当金	△ 31,209	前受金	23,225
<b>固定資産</b>	<b>14,226,815</b>	預り金	864,479
<b>有形固定資産</b>	<b>10,833,677</b>	ポイント引当金	90,642
建物	9,936,500	賞与引当金	125,962
減価償却累計額	△ 5,202,688	<b>固定負債</b>	<b>2,257,999</b>
構築物	1,617,388	長期借入金	1,508,373
減価償却累計額	△ 1,010,532	長期リース債務	132,187
機械装置	876,326	長期未払金	10,530
減価償却累計額	△ 311,754	退職給付引当金	36,657
車両運搬具	11,032	預り保証金	202,056
減価償却累計額	△ 9,263	資産除去債務	368,195
器具備品	1,377,727		
減価償却累計額	△ 1,138,222	<b>負債合計</b>	<b>8,821,460</b>
土地	4,333,799	<b>(純資産の部)</b>	
リース資産	180,204	<b>組合員資本</b>	<b>13,968,678</b>
減価償却累計額	△ 28,397	<b>出資金</b>	<b>9,954,355</b>
建設仮勘定	201,557	<b>剰余金</b>	<b>4,014,323</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>935,209</b>	法定準備金	2,676,270
借地権	72,554	資産再評価等準備金	98,496
ソフトウェア	110,225	特別償却準備金	32,483
ソフトウェア仮勘定	707,119	災害支援活動積立金	15,666
その他	45,310	別途積立金	530,000
<b>その他固定資産</b>	<b>2,457,927</b>	当期末処分剰余金	661,406
関係団体等出資金	762,830	(うち当期剰余金)	(133,478)
関係団体出資金	645,990		
子会社等株式	116,840		
長期貸付金	191,108		
長期前払費用	8,539		
差入保証金	1,135,810		
長期未収金	2,100		
繰延税金資産	359,121		
その他	558		
貸倒引当金	△ 2,140		
<b>資産合計</b>	<b>22,790,138</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>22,790,138</b>

## 損益計算書

(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)

市民生活協同組合ならコープ (単位:千円)		市民生活協同組合ならコープ (単位:千円)	
科目	金額	科目	金額
<b>供給事業</b>		<b>供給高</b>	<b>38,650,214</b>
供給原価		期首商品棚卸高	336,568
期首商品棚卸高	336,568	当期仕入高	29,189,443
当期仕入高	29,189,443	合計	29,526,011
合計	29,526,011	期末商品棚卸高	322,244
期末商品棚卸高	322,244	<b>供給剰余金</b>	<b>9,446,447</b>
<b>その他事業収入</b>		<b>その他事業収入</b>	
教育文化事業収入	18,805	教育文化事業収入	18,805
配達手数料収入	404,983	配達手数料収入	404,983
共済受託収入	487,831	共済受託収入	487,831
不動産賃貸収入	216,346	不動産賃貸収入	216,346
その他受取手数料	285,514	その他受取手数料	285,514
その他事業収入計	1,413,480	その他事業収入計	1,413,480
<b>事業総剰余金</b>	<b>10,859,928</b>	<b>事業総剰余金</b>	<b>10,859,928</b>
<b>事業経費</b>		<b>事業経費</b>	
人件費	3,748,305	人件費	3,748,305
物件費	6,846,339	物件費	6,846,339
<b>事業剰余金</b>	<b>265,282</b>	<b>事業剰余金</b>	<b>265,282</b>
<b>事業外収益</b>		<b>事業外収益</b>	
受取利息	8,952	受取利息	8,952
受取配当金	7,008	受取配当金	7,008
貸貸資産収入	55,678	貸貸資産収入	55,678
雑収入	171,026	雑収入	171,026
<b>事業外費用</b>		<b>事業外費用</b>	
支払利息	3,118	支払利息	3,118
貸貸資産関連費用	39,703	貸貸資産関連費用	39,703
雑損失	63,517	雑損失	63,517
<b>経常剰余金</b>	<b>401,608</b>	<b>経常剰余金</b>	<b>401,608</b>
<b>特別利益</b>		<b>特別利益</b>	
資産除去債務取崩益	19,922	資産除去債務取崩益	19,922
<b>特別損失</b>		<b>特別損失</b>	
固定資産除去損	913	固定資産除去損	913
減損損失	219,291	減損損失	219,291
<b>税引前当期剰余金</b>	<b>201,325</b>	<b>税引前当期剰余金</b>	<b>201,325</b>
法人税等	102,677	法人税等	102,677
法人税等調整額	△ 34,831	法人税等調整額	△ 34,831
<b>当期剰余金</b>	<b>133,478</b>	<b>当期剰余金</b>	<b>133,478</b>
当期首繰越剰余金	128,474	当期首繰越剰余金	128,474
資産再評価等準備金取崩額	219,291	資産再評価等準備金取崩額	219,291
特別償却準備金取崩額	10,827	特別償却準備金取崩額	10,827
災害支援活動積立金取崩金	19,333	災害支援活動積立金取崩金	19,333
新店開店記念組合員還元積立金取崩額	150,000	新店開店記念組合員還元積立金取崩額	150,000
<b>当期未処分剰余金</b>	<b>661,406</b>	<b>当期未処分剰余金</b>	<b>661,406</b>

## 剰余金処分の決定

(2017年6月9日)

市民生活協同組合ならコープ (単位:千円)	
項目	金額
当期末処分剰余金(A)	661,406
剰余金処分額	
1. 法定準備金	100,000
2. 出資配当金	30,205
3. 任意積立金	
(1) 資産再評価等準備金	220,000
(2) 災害支援活動積立金	4,333
(3) 新店開店記念組合員還元積立金	150,000
(4) 別途積立金	30,000
合計(B)	534,539
次期繰越剰余金(A)-(B)	126,867

(注記)

1. 法定準備金は、消費生活協同組合法第51条の4第1項の定めによって1千万円を積み立てます。
2. 定款第79条による利用分量割戻は内部留保の充実を図るため実施しません。
3. 定款第80条に定める出資配当は、年0.30%(税引後0.23%:復興特別所得税含む)でおこないます。
4. 固定資産処分による除却損や減損損失の計上に備え、資産再評価等準備金2億2千万円を積み立てます。
5. 半年度の経営に左右されず、継続的に災害支援活動が実行できるよう、災害支援活動積立金を433万3,915円積み増し、2017年度は、内部留保している災害支援活動積立金とあわせて2千万円を災害支援活動の費用に充てます。
6. 新店開店記念事業として、組合員大還元セールなどが実行できるよう1億5千万円を積み立てます。
7. 経営をめぐる不測の事態に備えて、別途積立金3千万円を積み立てます。
8. 次期繰越剰余金には、消費生活協同組合法第51条の4第4項及び第5項に定める教育事業等繰越金2千4百万円を含みます。

### 《剰余金割戻の取扱いについて》

1. 剰余金の割戻を受けることのできる組合員は、2016年度末現在の組合員で、かつ総代会当日に在籍している組合員です。
2. 出資額に応ずる割戻(出資配当)は、2016年度末の出資金残高を対象に計算します。年度途中の増資は日割り計算します。
3. 払戻手続などは、各組合員宛てに通知致します。払戻請求の受付期間は2017年7月1日～7月31日とします。2017年7月31日までに払戻請求がない場合、出資配当金は、2017年7月1日付で出資金に振り替えることを基本とします。

を前店より方針としておりまし  
た。今秋からの有料化に向け呼びか  
けの工夫をこらしながら準備をす  
めています。マイバッグ持参運動をは  
じめさまざまな環境活動において、  
私たちが日頃のくらしの中でできる  
行動をさらに考え、地球温暖化防止  
の取り組みを盛り上げてまいりま  
しょう。

● 平和の取り組みは「核兵器廃絶に  
むけた国際署名」への取り組みを柱  
とします。また、くらしと平和を守  
る視点から憲法改正の動向を注視  
し、憲法や戦争の悲しさについて地  
域で学ぶ場づくりを広げ、一人ひと  
りが判断し行動できる力を身につける  
ことを方針としてさまざまな取り組  
みをすすめてまいります。法改正、  
改憲論議の内容など組合員同士わ  
からないこと、不安に思うことなど  
を話し合い、学習をすすめて、一人ひと  
りが考え判断できる力をつけていく  
ことは、「平和とよりよい生活のため  
に」をモットーにしてきた生協の活  
動としても大切なことです。また、具  
体的な行動提起として2006年  
以降、平和行進に代えピースア  
クションを呼びかけています。今年度  
は9月30日(土)に予定しています。  
広く参加を呼びかけていただければ  
と願っています。



● 今回ご意見いただいた書籍に  
関しての問題は、2007年度か  
ら店舗事業の経営再建に向け、組  
織風土改革及びマネジメント改  
革の取り組みを強める中、仕事の  
対象に貢献する仕事のありよ  
う、自分都合の仕事からの脱却に  
ついて、職員自らが自発的にすす  
める改革に取り組んでまいりま  
した。しかしながら、仕事と真剣  
に向き合うあまり、その言動が厳  
しすぎる印象を与えたことや、コ  
ンプライアンス上不適切な事案  
も判明しました。今回のご意見に  
ある問題を教訓にコンプライア  
ンス経営をさらに強化し、組合員  
と役員が共に力を合わせ、43年  
間築きあげてこられた土台をさ  
らに強固なものへと歩みをすす  
め、働きがいのもてる組織、他者  
を思いやり自律した職員であふ  
れた職場に変えていくことに全  
力を尽くす所存です。

● 第11次中期計画では、地域で  
くらす高齢者や子育て層を巻き  
込み、居場所づくりへとつなげて  
いくことを検討課題としていま  
す。老いても健康を維持してい  
くために、適度な運動と食生活、他  
者との会話が重要であるといわれ  
ています。少子高齢化がすすむ奈  
良県において、「一人ぼっちを作らな  
い、多様な人々の居場所づくりを  
視点に、新事業所開設や既存事業  
所の活用など、ならコープが地域  
の拠点となるよう、そして地域に  
なくてはならない存在へとつなげ  
ていきたいと考えています。

● 12年ぶりの出店となったコープ  
なんごうは、地域の方々を中心に  
協友店を含めてこ来店いただき、  
事業も順調に推移しております。  
また6月にオープンした、なら  
コープwithロソソ真美ヶ丘  
店は、便利で買い物しやすいだけ  
ではなく、これからの高齢社会を  
見据えたコンパクトで必要最小限  
の商品が揃い、「コミュニティスベ  
ー」を設けて、地域の居場所とな  
ることをめざしています。いずれの  
店舗もスタートしたばかりです。  
これからもみなさまのご意見を  
しっかりと受け止め、より利用しや  
すい店舗となるよう改善してまい  
ります。

● 「私のひとこと」でご意見い  
ただいたエシカル消費について  
は、10月にエシカル月間として  
取り組みます。この取り組み  
は、消費することによって、社会  
や地域、人や環境保護につな  
がる倫理的消費とも言われてい  
ます。ならコープでは、設立以  
来、地産地消の取り組みや産直  
商品の普及、「吉野の森と水」を  
守るための募金」などに取り組  
んでまいりました。持続可能な  
社会の実現に向け、地球と人々  
の環境を守るため、自分たちの  
身近なところから取り組みを  
推進し、共に学び消費し、社会  
にも発信できるよう取り組ん  
でまいります。

【まとめ】  
たくさんのご意見、ありがとう  
ございました。組合員のみなさ  
んの声をしっかりと受け止め、事  
業や活動に反映していくこと  
が、厳しい世の中を乗り越えて  
いく、ただ一つの手立てと思っ  
ています。そのためには、私たち  
役員一人ひとりの態度が問わ  
れ、組合員の方々のくらしに向  
き合いながらその態度を高め、  
実践してまいります。